

## 令和5年度第2回学校給食運営審議会 会議録

日時：令和5年7月27日（木） 16：00～17：05

場所：出雲市役所 3階 庁議室

### ◆会長あいさつ

- ・今後の出雲市の学校給食を充実させるべく、学校給食費について検討をお願いします。

### ◆教育長あいさつ

- ・第1回の審議会では、出雲市の学校給食事業について概要を説明し、ご理解をいただけたものと思っている。
- ・子どもたちにとって楽しみである給食にしていくため、学校給食費の改定について、ご審議いただきたい。

### ◆出席状況

- ・9名出席のため本会は成立（過半数の7名以上の出席で成立）

### ◆議題 学校給食費の改定について

- ・資料1に沿って説明。

### ◆質疑応答

（注釈：文書中「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」は「コロナ交付金」と省略して記載しています。）

（意見：A委員）

- ・改定額について説明をいただき、この改定額については理解した。
- ・改定に伴う増加分はコロナ交付金を使って保護者負担はないということだが、例えば最低賃金の上昇等により農産品や加工品などが今後上がるのではないかと予想している。
- ・今回増加分は減免、次回は減免されないという話になりかねないため、保護者等に今回減免の理由の説明をしっかりとお願いしたい。

（回答：林学校給食課長）

- ・今回初めてコロナ交付金で減免をするため、しっかりとお知らせしたい。
- ・減免の財源として、市の単独予算では難しいところもあるが、検討していかないといけないところもある。国も来年度、物価高騰対策と少子化で財源措置をするというような話を聞いている。

（意見：A委員）

- ・多くの方が納得できるような形で、発信していただきたい。

（質問：B委員）

- ・コロナ交付金を給食に使うことは交付金の趣旨に沿っているのか。
- ・これを給食にというところの考え方をお願いしたい。

(回答：林学校給食課長)

- ・コロナ交付金は、保護者負担が増えることについても対象となっている。
- ・給食費の値上げで保護者の負担が増えるため、このコロナ交付金を使う。
- ・交付金が来年度も続けば活用について検討したい。

(回答：安井副教育長)

- ・今回の改正は、子どもたちにしっかり食べさせたいという思いと、年度の中で給食費を上げるという話とあり、保護者の理解を得るにはコロナ交付金の財源を使って、市で実質保護者負担をなくすというセットで提案をしている。
- ・コロナ交付金の趣旨として、物価高騰に対する保護者負担の軽減で、給食費に充ててもよいという国の説明等があり、現に他市でも活用の事例がある。
- ・コロナ交付金の活用方法には、材料費に充てて給食費を上げないというやり方もあるが、来年度以降また十分な給食が提供できない可能性がある。ベースは物価高騰で上がっているため、相応分の負担をお願いしたい。
- ・コロナ交付金の趣旨が保護者負担の軽減であるため、先生方には改定分の負担をお願いする。

(質問：C委員) (質問：副会長)

- ・松江市に比べて値上げ幅が少ないが、来年度以降も輸送費や電力代、野菜などが上がる可能性もあるが、今回の改定で大丈夫か。

(回答：林学校給食課長)

- ・物価高騰や牛乳代の上昇がどのくらい上がるのかわからないため、現状で試算した。
- ・わからないものをあらかじめ上乘せするのは保護者の理解が得られない。
- ・急激な物価上昇、値上がり等の大きな変動があれば、この審議会において改定の議論をさせていただきたい。

(質問：副会長)

- ・改定をして、すぐにまた改定という可能性もあるのか。

(回答：林学校給食課長)

- ・どれくらい上がるかによるが、状況によってはお願いしないといけない。

(意見：副会長)

- ・保護者としては、今年度はコロナ交付金の活用で現行と金額が同じだが、来年度からは値上がりの金額を払うことになると思うが、またすぐ値上げはどうかと思う。

(回答：安井副教育長)

- ・物価高騰が様々な社会情勢に影響を受けている中では読めないところがある。
- ・一方で、すぐ上がるのは、というご意見も最もだと思う。
- ・仮に上乗せして改定した場合、上乗せ分物価高騰がなければ、余分にもらっていることになり、理解が得られにくい。
- ・後追いになるが、1年間は献立等の工夫で対応し、翌年に向けて見通しを立てたものでお願いをしていくというやり方でないと、今の情勢ではしのげないと思っている。
- ・仮に10円・20円上げておけば大丈夫かもしれないが、一方ではそれだけの給食が提供できなかったら、保護者はなぜそれだけ取られたのかということにもなる。
- ・給食は安全で安心したものを安定的にという観点もあるため、上乗せ分たまたまいいものを出して、やはり物価が上がったので今度はいいものが出せないという、年度で給食の内容に大きな変化があるのは望ましくない。
- ・上乗せしたい気持ちはあるが、根拠がないため激変の可能性がある段階は、後追い改正で対応させていただきたい。

(質問：D委員)

- ・なぜ副食費の試算を令和3年度からの上昇率だったのか。
- ・副食費は平成26年に改定して以降、変わっていないため平成26年からの物価上昇率を使ったがよかったのではないか。
- ・日本銀行が経済物価情勢の展望というものを出していて、3年後までの物価上昇率を試算しており、物価の上昇率はこれを見ればわかるのでは。

(回答：林学校給食課長)

- ・副食費は平成26年から変わっていないが、これまでこの金額でやってこれたものとして、令和2年の改定以降のところまで計算している。
- ・前回令和2年10月に改定しているのので、直近の令和3年度1学期を基準として今回計算した。

(意見：D委員)。

- ・令和2年の改定は副食費ではなく、牛乳や加工賃、消費税が上がったということで牛乳代と主食費が上がった。
- ・決められた金額の中で、献立は頑張っけて立ててきたが、だんだん食べられる物が限られてきて、デザートが減ってきたりとかしながらも、献立は立ててきた。
- ・上昇率は平成26年ぐらいを見た方が良かったのではと思った。

(補足：安井副教育長)

- ・比較については、例えば米価は下がっているが、加工賃が上がっているということもあり、難しいところがあるが、令和2年10月の給食費改定で令和3年度は支障なくできたという事実はある。
- ・令和4年度になり、デザートが一品なくなる、揚げ物が減っていくなどの声を聴き始め、令和5年度さらに物価が上昇したので、令和3年度と令和5年度を比較し、上

昇率を出している。

- ・今後、物価がある程度、安定的な上昇であれば、日銀の物価上昇指数みたいなものを考慮して、設定をしていくということも一つの考え方ではあるが、劇的に物価が上昇している今段階の見通しとしては、それは適当なやり方ではないという判断をした。

(質問：C委員)

- ・給食費の内訳と副食費の割合、他市の状況はどうか。

(回答：林学校給食課長)

- ・他市の状況は、公表していいか確認できていない。

(質問：C委員)

- ・他市と主食と牛乳はそんなに金額は変わらないと思うが、金額がわかれば次回など機会に教えていただきたい。

(回答：林学校給食課長)

- ・牛乳は固定になっているので、どこも同じ。
- ・主食は市町によって、直営炊飯と委託炊飯とあり、委託炊飯は委託料が入るため差がある。
- ・副食は各市町で決定しているため、調べて提供できれば提供させていただく。

(質問：E委員)

- ・値上げはやむを得ないと思うが、保護者に理解してもらえるよう丁寧に説明していく必要があると思う。保護者への説明をどのようにされるのか。
- ・令和5年度の改定分はコロナ交付金を充てて保護者の負担はなし、令和6年度からは負担となる、ということを知りやすくすることが必要と思う。

(回答：林学校給食課長)

- ・保護者に理解を得られるよう、わかりやすい文章でお知らせできるようにしたい。

(質問：会長)

- ・前回の会議でセタデザートがなくなったり、食材費を抑えるために工夫をしたりと聞いたが、今回の値上げでそれが解消されるのか。
- ・工夫等を保護者に伝えられれば値上げも納得される要因になると思う。

(回答：林学校給食課長)

- ・基本的には今回の改定で3年ぐらいの給食は維持できていると思っている。
- ・今後、各栄養教諭とも相談しながら進める必要があると思っている。

(質問：D委員)

・汁の配食率の記載で中学校 1.25、幼稚園 0.85 とあるが、平田給食センターの場合は中学校 1.3、幼稚園 0.8 でやっている。1.25 に合わせる必要があるか。

(回答：林学校給食課長)

・各センターの仕様については、統一の方向でやっていく必要があると思っている。今回は出雲給食センターの率で試算した。

(質問：D 委員)

・値上げが 10 月ということは、途中からこの比率に変えないといけないのか。

(回答：林学校給食課長)

・配食率で給食費の試算し、負担していただくが、実際の給食の配食はそれぞれのセンターで異なっているため予算の中で対応していく。  
・全体予算の中で配分割合も変わってくるが、10 月からということではない。

(質問：D 委員)

・小学校分で中学校分を平田給食センターは賄う感じにならないか。

(回答：林学校給食課長)

・予算の配分は今後一緒に検討していかないといけないと思う。

(補足：安井副教育長)

・主食・副食・牛乳の内訳を出しているが、単価が違うので分けて積算をしている。  
・各センターで献立など違う部分もあるが、今回は汁の割合で積算の根拠としたのでご理解いただきたい。

(質問：B 委員)

・激変的な物価上昇を踏まえて、値上げはやむなしと思っている。  
・出雲市の給食が地産地消や安心・安全、安定ということがよくわかった。  
・値上げの要因として、物価の上昇以外にも安心・安全な給食を維持するための値上げ、という視点も検討される余地はあるのではないかと思った。

(回答：林学校給食課長)

・積算は現状の購入先の単価でしているため、安心・安全は保たれていると思っているので、これまでどおりやっていきたい。

(質問：B 委員)

・この中に含まれているということか。

(回答：林学校給食課長)

- ・そのとおり。

(質問：F 委員)

- ・児童・生徒数が減った場合も値上げはされるのか。

(回答：林学校給食課長)

- ・児童・生徒数の変化によって、値上げをするということは基本的でない。
- ・毎年の食数と金額で給食は作っているのですが、物価上昇などで値上げはするが、人数が減ったからその分賄えないということではない。

(補足：安井副教育長)

- ・給食費は材料費であり、内訳としては、主食・副食・牛乳となる。
- ・調理員の人件費や施設管理費は行政が負担することとなっている。
- ・仮に人件費等も給食費に含まれると人数が減れば単価が上がる場合もあるが、あくまで材料費であるため、大量購入で安くなるなどの要素がなければ値段は変わらない。
- ・主食費は他市と違いがあり、直営炊飯は調理費用を行政が負担しているが、委託炊飯は調理費用も含めたごはんとして購入するため高くなる。
- ・委託分の費用が 30 円程度あるが、直営炊飯している市に 30 円を足すと概ね近い金額になる。
- ・松江市並みに値上げという話もあったが、いろいろな事情で上り幅は違うが、改正案で見るとどこも同じような形になっているのではないかと見ている。

(質問：会長)

- ・欠席されている保護者代表の委員からの意見はいかがか。

(回答：林学校給食課長)

- ・欠席の委員 4 名の方に電話やお会いし意見を伺った。
- ・今回の値上げは物価上昇のことを考えると致し方ないとの意見であった。
- ・その中で、デザートなど子どもが非常に楽しみにしているもので、そういった気持ちを大切にしたいというような意見が多かった。
- ・また、3 食のうち、大切な 1 食の給食をお任せしている、地産地消を含めて安全安心な給食の提供をお願いしたいとのことだった。

(意見：G 委員)

- ・保護者が納得できるように物価高騰の流れと、これからの改定について説明をお願いしたい。

(会長)

- ・出雲市の給食の現状というところで、牛乳の値上がり副食費に食い込んでいる状況があり、それを解消する必要がある。

・今後また物価高騰があるかもしれないが社会情勢は読めないところもあるので、まずは今回の値上げにより、ゼリー等デザートを提供等々3年前の食事の状況に戻し、子どもたちへのより充実した食事の提供につなげることができればと思う。

◆議題1について全員の挙手により承認。

◆改定に向けた流れについて

(林学校給食課長)

- ・承認いただいた案で9月議会に補正予算を計上し、10月1日から改定する。
- ・議決後、保護者に改定と減免により負担が増えないことをお知らせする。
- ・教職員等は負担が増えるため、急なお知らせとなるが、8月の校長会、園長会で事前にお知らせをする。

◆令和5年度第2回学校給食運営審議会を終了